

27P-am237

1, 3-置換-5-フルオロウラシルの合成とその抗 HCV 活性

○磯野 洋平¹, 池尻 昌宏², 大島 隆幸¹, 榊原 紀和¹, 丸山 徳見¹ (¹徳島文理大香川薬, ²大阪大谷大薬)

【目的】HCV が 1989 年に発見されて以来、その治療の為様々な抗ウイルス薬が考案・研究され、その 1 つとして非ヌクレオシド系 RNA 依存性 RNA ポリメラーゼ阻害剤 (NNRRI) が報告された。今回、1, 3-置換-5-フルオロウラシル **4**~**7** を当研究室が開発した手法で合成し、その抗 HCV 活性を調査した。

【方法・結果】まず 5-FU から **1** を得た後、3, 5-Dimethylbenzyl alcohol との光延反応によって 1 位置換体 (**2**) を得た。これを温和な条件で還元して **3** とした後、N¹-アルキル化によって目的物 **4**~**7** を得た。Subgenomic replicon system において **4** は弱い抗 HIV 活性を示した。

